新入団選手お披露目

埼玉武蔵ヒートベアーズ

（さいたま市）

新入団選手と清田監督

埼玉武蔵ヒートベアーズの新入団選手の記者会見が12月13日、さいたま市のホテル ブリランテ武蔵野で開かれた。

ベアーズは2015年からプロ野球独立リーグ・ルートインBC（ベースボール・チャレンジ）リーグに参戦、熊谷や上尾、鴻巣、さいたま市などをホーム球場に戦っている。新たに入団したのは、特別合格選手7人、球団トライアウト合格選手7人、他チームから移籍した1人の計15人。マスコミやファンを前に、1人1人がアピールポイントや意気込みなどを語っていった。清田育宏監督は「（昨シーズンは）静かなチームだったので、今年は活気のあるチームにしてくれると信じています。優勝目指して厳しくやっていきたい」と話した。

トライアウト合格選手の木下涼介外野手は桶川市出身の18歳。兄の影響で小学校入学前から少年野球チームの北本アトラスでプレー、中学時代は軟式クラブチーム「彩球ベースボールクラブ」で活動し、北本高校野球部で甲子園を目指した。「選球眼に自信があるので、ヒットの率を上げ長打でチームに貢献したい。目標としているのは巨人の石塚裕惺選手。ファンの方に喜んでいただけるプレーをし、NPB入りしたい」と意気込んでいる。

園児を喜ばせる

「保育園のサンタさん」

（上尾市）

上尾市菅谷のさつき保育園（髙橋久誠園長）は12月23日、「クリスマス・サンタクロース集会」を開催した。園児たちは、サンタクロースの登場に大喜びし、笑顔でプレゼントを受け取っていた。

市内の私立保育園の中で最も長い歴史を誇る同園は1980年に創立。サンタクロース集会は、20年以上続く伝統の取り組みになっている。10数年前から卒園生の保護者で近所の石塚康典さんがサンタ役を続け、園児たちを喜ばせている。

プレゼントを手渡す「保育園のサンタさん」

サンタクロース集会では、園児たちが歌う「あわてんぼうのサンタクロース」の曲にあわせて登場し、大歓声が湧き上がった。一人ひとりにプレゼントを手渡し、うれしさのあまりに握手をしたり、ハグをしたりする園児もいて温かな雰囲気に包まれた。

当初は軽い気持ちで引き受けたという石塚さんは、「子どもたちが喜んでくれるのがうれしく、自分も楽しくて元気をもらっています」と大切にしている。髙橋園長は「長年続けていただいて感謝の気持ちでいっぱい。子どもたちが笑顔で通える園運営につながっています」と感謝した。

あけましておめでとうございます。新年特別コラムということで、最近話題のマウスピース矯正についてお話しします。

近年、AI（人工知能）の進歩は目覚ましく、チャットGPTなどを日常で活用している方も増えてきました。実は歯科の分野でもAI技術は大きく発展しており、例えば矯正治療の領域ではデジタル&AIの進歩で治療方法そのものが大きく変化しつつあります。

これまで矯正治療といえば、歯一本ずつに器具（ブラケット）をつけワイヤーを調整しながら歯を動かしていく方法が主流でした。しかし近年は、AI技術を活用した「マウスピース矯正」が大きく普及しています。お口の中をスキャンしたデータを基に、AIが理想的な歯並びを細かく設計。そのシミュレーションに沿って複数枚のマウスピースを段階的に交換し、歯並びを整えていく仕組みです。取り外しができ目立ちにくいことから、マウスピース矯正を希望される方は年々増